

平成28年度第1回中原区区民会議

日時 平成28年8月4日（木）14：00～

場所 中原区役所5階 503会議室

午後 2 時 開 会

委嘱状交付

司会 皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから第 1 回中原区区民会議を開催させていただきます。本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます中原区役所企画課長の鈴木と申します。よろしくお願いいたします。

なお、本日、区長は所用により欠席させていただいております。副区長が代理を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、会議に先立ちまして、第 6 期中原区区民会議委員の皆様には中原区副区長から委嘱状を交付させていただきたいと存じます。私がお 1 人ずつお名前を申し上げますので、その場で御起立いただきまして、委嘱状をお受け取りいただきますようお願いいたします。

それでは、副区長、よろしくお願いいたします。

〔副区長から各委員へ委嘱状交付〕

司会 委嘱状の交付は以上でございます。なお、岩崎委員からは本日御欠席との御連絡をいただいております。

以上で委嘱状の交付式を終わらせていただきます。

1 開会

司会 それでは改めまして、これより第 1 回中原区区民会議を開会いたします。

初めに、会議の開会に当たりまして、中原区副区長の高橋より御挨拶申し上げます。

副区長 中原区副区長の高橋でございます。委員及び参与の皆様におかれましては、お忙しいところ、第 6 期の第 1 回中原区区民会議にお集まりいただきまことにありがとうございます。さて、第 6 期中原区区民会議の開催に当たりまして、ただいま委員の皆様には委嘱状をお渡しいたしました。改めて皆様のお顔を拝見させていただき、第 6 期もさまざまな分野から御出席いただいておりますことから、活発な議論を進めていただけるものと拝察しているところでございます。

区民会議につきましては、自治基本条例で設置が規定されておりまして、地域の課題を調査審議するものでございまして、区役所としてもその審議結果を区政に反映していくよう努めてまいりたいと考えております。こうしたことから、区にとっては最も重みのある会議でありまして、区役所からも毎回私を初めとして、全部長が事務局席に座らせていただき、審議の方向性を確認しているところでございます。

中原区を取り巻く状況といたしましては、皆様、御承知のとおり、本年 5 月中に区内人口が 25 万人を超え、武蔵小杉駅周辺の再開発や等々力緑地の再編整備など、引き続きまちの姿が急速に変化をしております。また、本市の施策として、今年度から地域包括ケアシステムを推進するために区役所機構を一部改編して、地域みまもり支援センターを新設い

たしました。さらには、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会では、等々力陸上競技場が英国の事前キャンプ地として活用される予定であり、また、パラリンピックに重点を置きまして、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていくために、かわさきパラムーブメント推進ビジョンを策定し、さまざまな取り組みを進めているところでございます。

区役所といたしましても、こうした環境変化に対応して、課題を的確に捉え対応を行い、区民の方々に住み続けたいと感じてもらえるまちづくりに取り組んでまいります。皆様のお立場からも、幅広い視点で課題の発見及び解決に向けた取り組みについて御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

委員の皆様は、それぞれの分野で地域の核としてこれまで活躍をしてこられた方々でございますので、これからもこの区民会議の場だけではなく、さまざまな場面でお力を発揮していただき、魅力ある中原の実現に向けて御協力いただきたいと思います。

結びになりますけれども、暑い日が続いておりますので、どうぞ健康にはくれぐれも御留意いただきますようお願いいたします。私からの御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

2 出席者自己紹介

司会 それでは、出席者の皆様の御紹介に移りたいと思います。

初めに、区民会議委員の皆様は、席順に沿って選出分野や所属団体を含め自己紹介をお願いいたします。その後、区民会議の参与として御出席いただいております市議会、県議会の議員の皆様から自己紹介をお願いいたします。

なお、市議会議員の大庭参与、原参与、松井参与、県議会議員の滝田参与につきましては、所用により欠席との御連絡をいただいております。また、君嶋参与、川島参与、吉岡参与につきましては、おくれるとの御連絡をいただいております。

発言に当たりましては、恐れ入りますが、お手元のマイクを順次回していただきますようお願いいたします。なお、時間の関係もでございますので、お1人当たり30秒程度でお願いいたします。

それではまず、安藤委員よりお願いいたします。

安藤委員 こんにちは。小杉駅周辺エリアマネジメント理事長をしております安藤均と申します。よろしくお願いいたします。第6期の区民会議のメンバーとして新しく加えさせていただきます、どうもありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

伊藤委員 こんにちは。伊藤初美と申します。中原区町内会連絡協議会からの推薦です。私は井田第2町会に住んでおります。中原区で唯一山が近くにある町会でございます。いろいろと初めてですのわからないことが多いと思いますけれども、皆さんよろしくお願いいたします。

井上委員 皆さん、こんにちは。川崎フロンターレ中原アシストクラブの井上と申します。区民会議は2期目になります。2期目ということで、経験を生かして皆さんと一緒にいろいろと進めていきたいと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

内田委員 内田治彦と申します。こんにちは。中原区自主防災組織連絡協議会から参りました。地元では、木月一丁目町会町会長を賜っております。場所的に言いますと、皆さん御存じのプレーメン通り商店街というところが我が一丁目町会にございまして、活発なる町会と思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

梅原委員 ボーイスカウト&ガールスカウト中原区協議会の梅原と申します。区民会議も3期目になりまして、3期も務めましたけれども、最後と思ひまして頑張つてやっていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

小野山委員 こんにちは。中原区総合こどもネットワークから参りました小野山です。去年まで団体の名称が違つたので、見なければわからないような状態で申しわけありません。助産師もしてございまして、あちこちでうろうろと子育て支援にかかわらせていただいております。初めての参加で何もわかりませんが、どうか御指導いただけるよう、よろしくお願いいたします。

梶川委員 梶川明美と申します。2期目に入りまして、所属団体は中原区文化協会から出させていただいております。文化協会のほうでは編集委員をございまして、主に広報活動をございしておりますので、区民会議のときのことを新聞に載せたりしております。2期目に入りましてけれども、なかなか難しいいろんな問題がありますけれども、頑張つてまいりたいと思ひますので、よろしくお願いいたします。

児玉委員 こんにちは。児玉儷子と申します。中原社会福祉協議会から推薦を受けまして、今はボランティアグループひまわりの会所属でございまして、今、高齢の方が多うございまして、いろいろと問題がありますので、どうぞ御検討いただきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

鈴木功士委員 こんにちは。中原元気クラブの会長をさせていただきます鈴木と申します。大戸小学校を中心に子ども向けの教室などをございしております。皆様と比べるとまだまだ未熟者ですが、未熟者の意見として何か発言ができればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

鈴木晴美委員 皆様、こんにちは。中原区PTA協議会で副会長をさせていただきます鈴木と申します。個人的には幼稚園にも勤めてございまして、自分の息子を含め、周りの子どもたち、それからその幼稚園の子どもたちが育つていったときのことを考えながら、何か私が今お手伝いできることがあればと思ひながら参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

関口委員 関口と申します。中原区まちづくり推進委員会の推薦で参りました。私個人的には下沼部というところに住んでございまして、多分中原区で一番知られていないまちかなと

思います。ということで、私個人的には下沼部が中原区でこういう町だということを宣伝して歩きたいなということをやっております。

ちょっと時間があれですが、104年前に多摩川が県境というふうに固定されたために、東京府荏原郡から神奈川県に編入された貧乏な村でした。100年の歴史がありますけれども、神奈川県で一番新しいまちじゃないかと思います。ぜひ知っていただきたい、そんなことも含めて今回区民会議に参加させていただきます。よろしくお祈いします。

田邊委員 こんにちは。中原区民生委員児童委員協議会から出てまいりました田邊静江と申します。よろしくお祈いいたします。民生委員児童委員をやっておりますので、地域の子どもから高齢者まで、本当に近くで困ったこと、心配事を聞く立場にございますので、その声をぜひこの会議で生かしていきたいなと思って参加させていただきます。よろしくお祈いいたします。

中森委員 皆さん、こんにちは。日系2世ブラジル出身の中森ジュリアみどりと申します。中原に住んでもう20年になります。日本人と結婚して子どもが3人いて、3人とも日本で生まれています。区民会議は3期目で、皆さんといろいろお話をしたいと思っています。よろしくお祈いします。

成田委員 皆様、こんにちは。成田孝子と申します。中森さんと同じように、私も今回3期目ということで、前回2期にわたりまして、中原区子育てネットワークのほうから出させていただきました。今回、最後の期は区長推薦ということで、改めて最後の期を努めさせていただきますと思います。通常は中原区の民生委員児童委員協議会の玉川地区の主任児童委員をしております。今後ともよろしくお祈いいたします。

萩原委員 川崎中原工場協会から出ております萩原ひとみと申します。よろしくお祈いいたします。今回2期目になりますが、川崎中原工場協会は工場だけでなく、サービス業とか金融機関、不動産業部会、たくさんの方々が入っているところがございますので、いろんなネットワークを生かしながら地域のコミュニティ力を上げていければと思っています。どうぞよろしくお祈いいたします。

橋本委員 橋本満昭です。中原区市民健康の森を育てる会から出ております。市民健康の森といっても御存じない方が多いかと思いますが、井田病院に隣接しているところの井田山の一部です。1ヘクタール余りの健康の森で、約10年以上たって、川崎で最初の市民健康の森として立ち上げたところがございます。私もちょうど3期目になるんですが、まだまだやり残したことがあるということでございます。今後とも頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお祈いいたします。

森委員 こんにちは。中原区町内会連絡協議会の婦人部の会長をさせていただいております。当番で回ってきまして、何もわかりませんので、よろしく御指導のほどお祈いいたします。

柳沢委員 こんにちは。中原区商店連合会の会長をやっております柳沢正高と申します。

どうぞよろしく申し上げます。中原区の商店街には5つの連合会がございます。約5団体、1200名ぐらいの会員がおりますが、最近、御存じのように、小杉を中心としまして大変大きな大型商業施設ができて、だんだん我々商店街、まして個店は大変厳しい状態に置かれております。このたび商店街の活性化のために何かいいお知恵をいただければありがたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

山崎委員 山崎初美と申します。公募委員なんですけれども、地域での活動団体は、食生活改善推進連絡協議会、ヘルスマイトというところでやっております。食に関するいろいろなこと、主に食育を皆さんと一緒に勉強したり、普及したりするのが私たちの会の仕事になっております。よろしくお願ひいたします。

司会 続きまして、参与の皆様、よろしくお願ひいたします。

市古参与 皆様、こんにちは。市会議議員の市古映美と申します。いつも区民会議に参加させていただきますと、地域の課題を調査して審議をして、それだけではなくて、粘り強くその解決のために努力されている姿に本当に私たちは学ぶ点がたくさんありまして、時間の限り区民会議にも参加させていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

押本参与 改めまして、こんにちは。同じく市会議議員の押本吉司です。皆様、推薦団体、また地域活動をこなしてこられてこの場にいられると思ひますので、その経験を生かして活発な議論をしていただければと思ひますので、引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

重富参与 同じく、市議会議議員の重富達也でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

末永参与 同じく、市議会議議員の末永直でございます。まだ1期目でございます、皆様のお知恵を頂戴し、しっかりと勉強していかなければならないと思ひます。今後とも末永くよろしくお願ひ申し上げます。

松原参与 皆様、こんにちは。市議会議議員の松原茂文でございます。市会議議員10名と県議議員3名、合計13名が参与ということでございまして、私たちは積極的に手を挙げてこの会で意見を述べることができません。ただし、皆様方からさまざまな意見やコメントが求められたら、それに的確にコメントをしなければいけないという立場でございますので、そういった機会もいただけるように、皆様方からさまざまな御意見を賜ればと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

川本参与 皆さん、こんにちは。県議議員の川本学でございます。県におきましても、お役に立てるようしっかりと頑張つてまいりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。お疲れさまでございます。

司会 どうもありがとうございました。

次に、区役所側の出席者の紹介をさせていただきます。

副区長は先ほど御挨拶させていただきましたので、初めに、担当部長・生涯学習支援課

長の池谷でございます。

事務局 まちづくり推進部担当部長の池谷でございます。日ごろから市民館の館長をさせていただいております。皆様にはお世話になっております。よろしく願いいたします。

事務局 皆様、こんにちは。区民サービス部長の永山でございます。区役所におきましては、区民課及び保険年金課を所管しておりますと同時に、区役所サービス向上委員会の委員長もしておりますので、何か御意見がありましたら、よろしく願いいたします。どうぞよろしく願いいたします。

司会 続きまして、保健福祉センター所長が所要により欠席でございますので、みまもり支援センターの地域支援担当課長の瀧でございます。

事務局 よろしく願いいたします。

司会 続きまして、保健福祉センター副所長の浅川も欠席でございます、代理で児童家庭課長の立川でございます。

事務局 児童家庭課長の立川でございます。よろしく願いいたします。

事務局 地域みまもり支援センター担当部長の南と申します。どうぞよろしく願いいたします。先ほど副区長の挨拶の中にもございましたように、子どもから高齢者まで、全ての地域住民の方を対象にした地域包括ケアシステムを進めるということで今年度新しくできた組織でございます。昨年までのこども支援室と保健福祉センターを合体したようなところになってございます。ここにいらっしゃる皆様にもいろいろな形でお世話になっている方もたくさんいらっしゃいます。引き続きどうぞよろしく願いいたします。

事務局 道路公園センター所長の高津でございます。よろしく願いいたします。

事務局 総務課長の寺澤と申します。どうぞよろしく願いいたします。

司会 以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

また、本日写真を撮っていただいているのが株式会社カイトの岩下さん、こちらは澤速記事務所の小林さんです。こちらの方々には、今後の中原区区民会議の運営に当たりまして、事務局を補助していただく形になりますので、よろしく願いいたします。

次に、議事に入ります前に、本日お配りしております資料につきまして事務局から確認をさせていただきます。

事務局 では、お手元の資料の確認をさせていただきたいと思っております。

まず初めに、次第でございます。次第をおめぐりいただきますと別添1、別添2の資料がついているかと思っております。

続きまして、資料1でございます。

続いて、資料2でございます。

その後、資料3といたしまして、左上でとじた資料がついていると思っております。

その後、資料4でございます。

その後、資料5といたしまして、A4の1枚の資料及びカラー刷りの案内の資料がつい

ております。

以上が本日の資料でございます。

資料の確認は以上でございます。

司会 資料の不足等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

司会 次に、会議公開等について御説明させていただきます。よろしくお願ひします。

事務局 では、引き続きまして、会議の公開について御説明をさせていただきたいと思ひます。

本市におきましては、行政運営の透明性を確保するために、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例を制定しておりまして、審議会等の開催に当たりましては公開と定められております。実はこの区民会議につきましても、この条例に定める審議会に該当するものでございますので、会議録を作成し、公開することとなります。したがって、会議終了時まで、録音をさせていただきます。御了承いただきたいと存じます。

また、会議が公開になることに伴いまして、傍聴についても許可させていただくとともに、報道の取材につきましても御協力させていただきますので、あわせて御了解をいただきたいと思ひます。

また、区役所の記録及び広報用といたしましても、会議の様子などを写真により記録させていただきます。こちらにつきましても、市政だよりとか区のホームページなどに使用させていただきたいと考えております。あらかじめ御了承、御協力のほどよろしくお願ひいたします。

以上でございます。

3 正副委員長の互選

司会 では、議事に移らせていただきたいと思ひますけれども、次第に従いまして正副委員長の選任に入りたいと思ひます。正副委員長の選任に当たりましては、川崎市区民会議条例第5条第1項の規定によりまして、委員による互選となっておりますので、よろしくお願ひいたします。

まず、委員長の選任についてお諮りしたいと思ひます。皆様、いかがでございましょうか。

中森委員 私は委員長に成田委員を推薦いたします。

理由としては、第5期において副委員長を努められ、その実績は顕著であること、今回で委員に就任して3期目であり、これまでの御経験を生かされて各委員との意見調整を期待できることが挙げられます。以上の理由により、私は成田委員を委員長に推薦いたします。

司会 ありがとうございます。ただいま中森委員から、成田委員を委員長として推薦す

る旨の御発言がございました。ほかに何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

司会 特に意見がないようでしたら、委員長には成田委員に御就任をお願いしたいと存じます。よろしければ、皆様方、拍手で御承認をお願いしたいと存じます。

〔拍手〕

司会 どうもありがとうございます。それでは、成田委員、委員長の就任、よろしく願いいたします。

続きまして、副委員長の選任についてお諮りしたいと存じます。副委員長には、2名の方の選出をお願いしたいと存じます。皆様、いかがでございましょうか。

梶川委員 副委員長に、橋本委員と井上委員を推薦したいと思います。

まず、橋本委員を推薦する理由といたしまして、昨年度、5期のときに、成田委員とともに委員長をサポートして、とても熱心にいろいろやっていただきました。また、先ほどお話がありましたように、中原区市民健康の森を育てる会にかかわっていらっしゃいますので、中原区の市民活動団体の状況をよく御存じでいらっしゃいますので、皆さんを引っ張っていただくと思いますので、推薦理由とさせていただきます。

それから、井上委員は2期目の委員就任でいらっしゃいますので、これまでの御経験を生かして委員長をサポートしていただけたと思います。また、川崎フロンターレ中原アシストクラブとして行政とともに協働事業を実施されていますので、若い力を発揮していただいて、委員長をサポートしていただきたいと思いますので、いかがでしょうか。よろしく申し上げます。

司会 ありがとうございます。ただいま梶川委員から、橋本委員と井上委員を推薦する旨の御発言がございました。ほかに御意見等ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

司会 特に御意見がないようであれば、副委員長には橋本委員と井上委員に御就任をお願いしたいと存じます。これについてお諮りしたいと存じます。よろしければ、皆様から拍手で御確認をお願いいたします。

〔拍手〕

司会 どうもありがとうございます。それでは、橋本委員、井上委員、副委員長の就任につきまして、よろしく願いいたします。

それでは、これからの議事につきましては、委員長、副委員長に進めていただくこととなりますので、前の席へ御移動をお願いいたします。

〔成田委員長・橋本副委員長・井上副委員長、正副委員長席に移動〕

4 正副委員長挨拶

司会 それでは初めに、委員長、副委員長に就任の御挨拶をお願いしたいと思います。よ

ろしくお願いいたします。

成田委員長 先ほど御承認いただきました成田と申します。改めて皆様方、よろしくお願いいたします。こちらの区民会議、5期10年間開催しておりますが、その中で女性の委員長というのは何名かおりますが、その中でも、私は一番経験もキャリアもない、本当に一小市民という感じですが、ここに御列席されていらっしゃるいろいろな地元で御活躍され、キャリアも豊富な皆様方の経験豊かな御意見を集約できればと思っております。

こちらに2人そろっていらっしゃいます副委員長のお二方にサポートいただきながら、何とかこちらの第6期を務めさせていただければと思います。皆様、よろしくお願いいたします。

橋本副委員長 こんにちは。副委員長を務めさせていただきます橋本です。前回も副委員長を務めさせていただいたのですが、なかなか皆さんの意見を十分吸い上げることができなかったのかなという反省もしております。今度新たに成田委員長を支える役として、皆さんと一緒に、できるだけ多くの意見を出していただいて、中原区のまちを一步でもいいまちにしていくように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

井上副委員長 先ほども紹介しましたが、川崎フロンターレ中原アシストクラブの井上と申します。いろんな会議でお会いしている先輩方を前に、このような役を仰せつかるのは大変恐縮なんですけれども、先ほど橋本副委員長も言っていましたけれども、成田委員長をしっかりとサポートして、皆さんが身になる会議だと思っただけのようにしっかりとやっていきたいと思っておりますので、ぜひ皆さんよろしくお願いいたします。

司会 どうもありがとうございました。

区民会議条例第6条におきまして「委員長はその会議の議長となる」と規定されておりますので、ここからの議事進行は委員長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

成田委員長 それでは、早速ですが、ここからの議事は私が進行を務めさせていただきたいと思っております。大変暑い中ですが、皆様よろしくお願いいたします。

5 会議録確認委員の選任

成田委員長 まず最初に、会議録確認委員の選任をいたしたいと思っております。

選任を行う前に、会議録確認委員の役割につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 では、会議録確認委員の役割について事務局から説明させていただきたいと思っております。

区民会議の会議録につきましては、先ほど紹介をさせていただきましたとおり、速記者の方に作成をお願いしているところでございます。ただ、会議録の内容については委員の方に確認していただくこととなります。会議録確認委員の選任に当たりましては、委員の

皆様の負担を平等にするために、会議ごとに委員長及び副委員長を除いた残りの委員の持ち回りで2名の方をお願いさせていただければと存じますので、御協力をよろしく願いいたします。

事務局からの説明は以上でございます。

成田委員長 ありがとうございます。以上、事務局から御説明いただきましたが、これに関しまして、御質問などありますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 それでは、会議ごとに2名の委員の方をお願いするということですので、名簿の順番に従いまして、私から指名させていただきます。今回は、安藤委員、それから伊藤委員をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 それでは、よろしく願いいたします。

6 区民会議について・専門部会の設置及び専門部会委員の選任

成田委員長 次に、区民会議の概要、それから専門部会の設置及び専門部会委員の選任についてお諮りしたいと思います。

まず初めに、事務局から、区民会議の概要について説明をお願いいたします。

事務局 では、区民会議の概要について説明をさせていただきたいと存じます。お手元にある資料1、区民会議についてを御用意ください。

まず最初に、四角囲みで書いてございますが、区民会議とは、区民が主体となり、区民の視点から誰もが暮らしやすい地域社会を目指して、地域課題を解決するために話し合いや調査を行う会議と位置づけられているものでございます。

このペーパーの一番下に、検討テーマ選定のポイントとしまして6点ほどまとめさせていただいております。こちらの6つの視点から、区民会議として解決するにふさわしい地域課題を見つけていただければと考えているものでございます。

続きまして、専門部会の設置につきまして御説明をさせていただきたいと思っております。資料2を御用意ください。

専門部会の設置についてでございます。この専門部会の内容につきましては、主に川崎市区民会議条例施行規則に規定されております。第4条を引用させていただいております。

第2項におきまして、「専門部会に属すべき委員は、委員長が区民会議に諮って指名する」こと。続きまして、第3項では、「専門部会に部会長を置き、専門部会に属する委員の互選により定める」こと。第4項では、「専門部会は、調査検討のため必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる」こと。第5項では、「部会長は、専門部会の事務を掌理し、専門部会の調査検討の経過及び結果を区民

会議に報告するものと定められているもの」でございます。

この専門部会の設置を行うに当たりましては、第6期中原区区民会議におきましては、運営部会及び課題調査部会の2つを設置することを提案させていただきたいと思っております。

まず、運営部会についてでございますが、区民会議の円滑な運営を図るため、検討テーマや会議の運営の具体的なあり方について調整する役割を担う専門部会でございます。構成員は正副委員長を含めて7名程度、必要に応じて適宜開催することとなっております。こちらは第5期でも設置しておりまして、2年間で7回開催して協議をしていただいているところでございます。

次に、課題調査部会でございます。こちらは区民会議において審議されたテーマについて意見を整理していただき、課題解決に必要な情報の収集や調査を行っていただき、課題解決に向けた取り組みの検討に補完的な役割を果たしていただくものでございます。構成員は9名程度とさせていただきます。開催時期は区民会議の開催時期に合わせて適宜開催となっております。こちら第5期でも設置されているものでございまして、2年間で8回開催して協議をしていただいております。

事務局といたしましては、この2つの部会について、第6期でも設置してはいかがかと提案させていただくものでございます。

事務局からの説明は以上でございます。

成田委員長 ありがとうございます。早々と説明のほうは行ってしまいましたが、事務局案の説明は以上のとおりですが、これにつきまして、御不明な点など御質問はありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 そうしましたら、事務局案のとおり今回2つの専門部会を設置するというところでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 御異議ないようですので、この2つの部会を設置することといたします。

次に、専門部会の委員でございますが、区民会議条例施行規則第4条第2項におきまして「専門部会に属すべき委員は、委員長が区民会議に諮って指名する」と規定されております。したがって、これから正副委員長でしばらく協議のお時間をいただきまして、正副委員長により部会構成案を作成し、皆様にお示ししたいと思います。

なお、先ほどお諮りした専門部会のうち、課題調査部会につきましては、今後の区民会議で取り上げる検討テーマがまだ決まっておられませんので、第2回の区民会議で改めて課題調査部会の構成員をお諮りしたいと思います。したがって、本日は運営部会のみを選出とさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 異議がないようですので、これから正副委員長案を作成いたしますので、こ

ここで休憩を挟みたいと思います。ただいまより、10分間休憩ということで、14時53分ごろから再開とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

〔休憩〕

成田委員長 それでは、時間になりましたので、会議を再開させていただきます。

先ほど、お隣の502会議室におきまして、委員長、副委員長とで第6期区民会議運営部会委員の案を作成させていただきました。ただいまから、説明及び委員の発表をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、運営部会委員の案の作成に関しましては、1期目の方から3期目の方まで公平に同じ人数枠で選任させていただくということをメインに考えさせていただきました。次に、それぞれの皆様方の選出区分ということで、所属団体等の分野から公平にいろいろな面から話し合いをさせていただきたいということで、偏りがないように皆様を選ばせていただきました。

では、ただいまより名前を読み上げますので、皆様にお諮りしていただきたいと思えます。まず、区民会議の副委員長であります井上剛委員。同じく、副委員長の橋本満昭委員。続きまして、小野山利江子委員、梶川明美委員、田邊静江委員、萩原ひとみ委員。最後に、私、成田ということで、合計7名の方を運営委員の案として出させていただきます。

これに関して皆様方から御質問、また御要望などがあればお受けしたいと思います、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 それでは、案のとおりであれば皆様方の御承認をいただきたいと思えますので、拍手でお願いいたします。

〔拍手〕

成田委員長 それでは、運営委員になられた皆様方には、お忙しい中、恐縮ですが、今後の会議、よろしくお願いいたしますと思えます。

7 議題

(1) 第6期区民会議の審議テーマについて

成田委員長 では、本日の議題であります第6期区民会議の審議テーマについて審議を進めてまいりたいと思えます。

なお、本日の会議の最後に、各参与の皆様方には、今後の区民会議運営に当たっての助言などをいただければ幸いかと思えますので、ぜひよろしくお願いいたします。

さて、区民会議で取り上げる検討テーマですが、私ども委員の日ごろの取り組みからの把握ですとか、区民の皆様方の声などから、緊急性、重要性を鑑みて選定することとされています。本日は、委員の皆様1人1人が考えている区民会議で取り上げたい地域の課題

などについて、この場で意見交換を行ってまいりたいと存じます。

まず、議題の審議の前に、事務局からこの議題に関する資料の説明をお願いしたいと思います。

事務局 事務局から、第6期区民会議の審議テーマの参考資料について説明をさせていただきたいと思います。お手元にごございます資料3を御用意ください。

区民会議の検討テーマでございますが、先ほど委員長からも御説明がありましたとおり、区民会議の委員の皆様がさまざまな地域の課題の中で、緊急性や重要性を勘案して決定すると定められているものでございます。本日は、皆様の御審議の補足資料とさせていただきたいと思ひまして、事前に委員の皆様には、この会議を開催するに当たって、どのようなテーマや御興味がありますかというアンケートをさせていただきましたが、それを資料3の形で整理させていただきました。

この資料を参考にしていただきながら、また、委員の皆様の日ごろの活動や思いなども含めて、まずは区民会議でどのような地域課題をテーマとして取り上げていくべきかということをお検討いただければと思います。本日の会議での御議論を踏まえて、委員の皆様のお意見を運営委員会で審議していただいて検討テーマを提案、第2回の区民会議においては課題についての審議を進めていくという段取りで進めさせていただければと存じます。

事務局からの説明は以上でございます。

成田委員長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様には、事前に区民会議で取り上げるテーマにつきまして御提案いただいておりますので、まず、それをもとにどの議題を取り上げるべきかといったことを議論したいと思います。時間の許す限り意見交換を行いまして、区民会議で取り上げる課題テーマについてここで絞り込みを行いたいと思います。

まず、御意見がある方は挙手をお願いいたします。と言いましても、第1回目ということで、皆さん、多分緊張されていらっしゃるかと思いますので、順番に御意見を伺いたいと思います。席の順番でどちらからにしようかと思ひましたが、ここはまず、2期目の山崎委員のほうから、トップバッターで申しわけないですが、お願いいたします。

山崎委員 資料を読ませていただく限り、分野全てに細かい御提案がなされているので、この中から選ぶのは本当に大変だなというのがまず印象としてあります。

私が提案させていただいたのは、オリンピックに向けてのホスピタリティーの問題を1つと、それから、にぎやかなまちで大変発展している町に見えますけれども、やっぱり隠れてはいけないと思っているのが子どもさんの貧困について。これは、やっぱり社会問題としてきちんと区民も捉えていって、協力して子どもは育てなければいけないなと思ひますので、そこら辺はちょっと提案させていただいたところですので、御検討いただければと思います。

柳沢委員 私は立場上、商店街のことしか今のところわからない状態なんですけれども、先ほどもちょっと言ったように、中原区の商店街、今24単会あるんですが、小杉を中心としたああいう商業施設が各ところに点々としてできておるんですね。これは中原区に限らないんですけれども。そういう点で、商店街自身が買い物客、飲食も既に大分圧迫されてきまして、商店街によっては、消費者が買い物難民というか、買い物をするのに逆に不便になったとか、大型施設に行けば何でもそろろうという状態なもので、商店街の利便性がだんだん失われてきているなという実感は持っているんですけれども、その点、皆さん、消費者の方がどのように今商店街を見ているか、その辺をちょっと皆さんにお聞きしたいなと、そんなふうにして今回は参加させていただきました。特にここにある商店街振興、あと、商店街のやっているさまざまなイベントに対してもちょっと意見を聞きたいなと、そんなふうにしております。

森委員 初めてでちょっと戸惑っております。私が出したのは、防災・防犯、今地震とかいろいろありますので、そのことについて中原区ではどういう対策をしているのかなという観点でお調べいただければと思ったりしています。それから、年も年ですし、高齢も関係してきますし、いろいろここに書いてあるのはほとんど当てはまるような気がしますけれども、皆様の御意見とかを聞きたいと思っております。

萩原委員 いろいろあるんですけれども、時期的に、区民会議が2年ずつということを見ると、オリンピック・パラリンピックに向けて、私としては住んでよし、訪れてよしのまちづくりと思ったんですけれども、本当にバリアフリーですとか、ベビーカーのお母さんたちとかがお互いに、そうじゃない方にとっても歩きやすい、移動しやすいまちというのが大事だよなという、それで交通マナーの話にも前回なったと思うんですけれども、そういう意味で、もう1回、中原のバリアフリーだとかユニバーサルというのをちょっと見直ししたり、あとサインですね。すごく御年配の方でも、外国の方でもわかりやすいサインの統一ですとか、商店街の話もそうですけれども、各商店でも海外の方でも受け入れられるように英語の表記をふやすだとか、そういう町の魅力の発信なんかも含めて、事業所も、商店街も、個人とか公共施設なんかも含めて、もう1回まちづくりを見直ししてもいい時期じゃないかと思えます。

次の2年目だと直近過ぎてどうにもならないので、今からそれに取りかかる必要があるかなと思います。それは高齢者の問題と、小さなお子さんの問題と、全部絡んでいるかなと思いますので、居場所づくりのことも含めて、いいテーマじゃないかなと思っています。

中森委員 この中にいろんなテーマがあって、全てのテーマを皆さんと話し合いたいんですけれども、まず今一番重要であるのは防災と子育てではないかと思って、このテーマを提案しました。

まず、防災については、いつ大きな地震が起きてもおかしくないと言われていて、中

原区でもいろいろ、川崎市内では毎年総合訓練をやっているんですけども、実際中原区内では本当に準備が整っているかどうかちょっと心配で、特に川崎市内では外国籍の人口が2番目に多いと言っているので、どういうふうに準備できるかを皆さんと一緒に検討したいと思っています。

あとの子育てについては、小さいお子さんの家庭だけではなく、世代交流ということで、高齢者の方たちも子どもたちとの交流ができる場とか、子どもたちも年配の方たちとも交流できる居場所づくりというのも大切じゃないかと思ひ、このテーマを皆さんとお話ししたいと思っています。

田邊委員 私が一番に挙げたのは、高齢者、特に男性のひきこもりが今非常に心配で、地域で見えておられます、どうしても男性は、おひとり暮らしになったりすると高齢者は外に出てきてくださらないんですね。そういう方たちをどうしたらいいんだろうという思いが非常にあります。もう1つは、災害に遭ったとき、その人たちをどう支援できるんだろうということで、高齢者の問題と同時に、災害のときが一番心配だなと。あと、要援護者支援の名簿を私たちはいただいているんですが、そういう要援護者の方たち、心配な例えば認知症の重い方たちが避難所に行ったときにどうなるんだろうと。熊本の震災のときも、環境が変わってどうしても騒いでしまうので、家族の方が車で一緒に公園などにいましたというのを見聞きした場合に本当に悲しいなという思いがあって、災害に遭ったときに、そういう弱者をどういうふうにケアできるんだろうということまで突っ込んで、ちゃんと話し合っていきたいというのが私の希望です。お願いいたします。

関口委員 私の出身母体のまちづくり推進委員会でもそうなんですけれども、登録されている団体が300を超えるぐらいあるんですね。中身を見ますと、似たような活動をされているところがたくさんあります。例えば区役所でもそうですし、市民館でもそうですし、似たような団体が似たようなことを結構やられていて、要するにばらばらなんですよ。せっかくそういうことであれば、もっと協力あるいは共同して、参加者もターゲットが違う部分もあるかもしれないんですけども、そういったことをもっとまとめていく、コーディネートするような役割ができないのかなというふうに私はまちづくり推進委員会なんかでも考えていまして、区民会議自体ではなかなかできないと思うので、そういった役割をもっとしていったらどうなのかなと。

例えば5期10年間やっています、見ますと大体、当たり前のようなことをやられていると思うんですけども、こちらで2年間話し、あるいはやっていくという中で、もっと裾野を広げていく活動をしていったほうがいいんじゃないかという気がして、実は私は参加をしています。

鈴木晴美委員 こうやって見るとどれも大切だなと思ひながら拝見しているんですけども、私が書かせていただいたものは、まず交通について、自転車マナー、大人の自転車マナーについて書かせていただいたかと思ひます。いつも思っているのは、子どもが前乗せ

の自転車に親に乗せられて走っているときに、親が右側を走っていたら、その子は右側が普通だと思って、大きくなっても右側を走るようになるんじゃないかと思っているんです。それを改善していくには、やっぱり子育て世代の大人自身がそういう交通マナーについてもっと知っていく必要があるんじゃないかというのを常々思っておりまして、ちょっと去年子どもの自転車による悲しい事故があったりして、そういうことを考えると、大人に周知していくというのをぜひ続けていただきたい。

もう1つは防災です。今うちの息子が中学2年生なんですけれども、例えば平日学校のあるときに地震など災害があった場合、大人は会社勤めがあり、高校生は別の地域に出かけているという場合が多いじゃないですか。そういうときに中学生は、うちの息子を考えたときに、すごく大きな戦力になるんじゃないかと思うんですね。地域にいる、体もそこそこできてきて、すごく話も聞けて、そういうときには頼りになる存在じゃないかなと思うんです。そういう子どもたちにも、何か地域に役立つような、そういうときにどうやって動いたらいいかということをもうちよっと教えてあげられたらいいなと思っております。地域と子どもたちをつなげた防災について考えられたらいいかなと思っております。

鈴木功士委員 私もいろいろと書いたんですが、一貫して書いたものが、いろいろ活動していて、地域で一番核となるのは小学校ではないかと僕は活動を通じて思っています。小学校1年生の子が歩いていける距離にあるので、高齢者なども歩いていける距離にあるのではないかと感じています。なので、例えば小学校の施設を有効利用して高齢者の健康教室ですとか、そういうのを通じて、何か災害があったときの避難所も学校ですので、学校に行きなれた、習慣をつけるといいますか、そういう部分でもとてもいいのかなと思っております。

実際学校の施設を使うとなると、今100%稼働していて使えないという意見がどこの学校でも出るんですが、体育館は広くて、2名で使っていても100%使用なので、そういう部分がまだまだ、いろいろルールをつくってもっと有効利用ができるのではないかと思っていますので、そういうところを話し合えればなと思っております。

児玉委員 私もいろいろ書かせていただいたんですけれども、実際活動しているのは、高齢者と障害者の方の介助をさせていただいているんですね。いろいろと本当に障害のある方から、車椅子の方なんですけれども、大きな災害があったら私たちはどういうふうに対処したらいいんだろうかということも聞かれておりますので、障害のある方の移動とかそういうのをちょっと検討していただきたいと思っております。

梶川委員 書かせていただいたものとは違うんですけれども、先ほどお話にもあった大人の自転車マナーということについても、前回もそういう話が出て、大分いろんな討議はしましたけれども、何日か前に普通の市民の方から言われたんですけれども、決まったものをチラシとかパンフレットみたいなものをつくってもっと配ってもらいたかったと言うんですね。昔はよく、人は右側を歩いて車は左というのを随分言っていたんですけれども、

今それが余り言われなくて、うちの孫なんかも余りそういうのは知らないで、人が歩いているほうと一緒に歩いている感じで、それは設定して何か書いて皆さんに知らせたほうがいいのかかなんて、そういうのを今度区民会議に行ったら言うておいてくださいと言われましたので、ちょっと一言言わせていただきます。

それと、私はやっぱり文化・観光・スポーツというのが、文化協会のほうのあれに載っていますので、オリンピック・パラリンピックが4年後にありますので、そういうので何か少しお手伝いできたらいいなと思っています。

それと、中原区の魅力発信、世代交流、住民の交流、小杉駅周辺はすごくイベントをやったり多いんですけども、私は木月三丁目のほうに住んでいますがそういう何かやっているというのが余り伝わらないんですね。ですから、もう少し幅広く、中原区全体でできたらいいなと思っています。

以上です。

小野山委員 子育て支援のほうから出させていただいているんですけども、これを拝見していたら、いろんなところに絡んでくるなと感じています。世代を超えたというか、いろんな年齢層の方とお話をする機会をいただいている状況なんですけれども、問題を抱えている方とお話をさせていただくカウンセリングとかをすること多いんですけども、大体が生育歴とか環境とかに絡んでいる方が多いなということを考えて、あと今の状況というか、地域の特性としては出入りが激しいとかそういうところを考えて、情報を持っていていろいろお母さんも困っていて、お母さんもいらいらしててせっぱ詰まっているとか、そういう状況下でお子さんにも波及しているなというのをすごく感じます。

民生委員の方々にもすごく教えていただくこととか、御指導いただくことが多いんですけども、その中で、いろんなことを御存じで、私は40なんですけれども、この年になって知らないこととかいうのを御指導いただいている、ためになるなど。人生を生き抜いていくための知恵とか、そういう感じのことをお教えいただくことが多いんですけども、そういうことを考えても、伝承というのが欠如しているかなというのを感じます。

私は転勤族で、全国あちこち、九州から西日本のほうを中心に行っているんですけども、田舎に行くと、先ほどもお話しさせていただいたんですけども、残っているんですね、伝承とかそういうところが。と考えると、そこでせつかく力を持った諸先輩方がいらっしゃるのに、伝承する何かはどういうふうなことをすれば子どもたちに伝わっていくのか、伝承を持った子どもたちが育っていくのに生きる知恵というのをもらえるのかと考えたり、そういうところもあります。

すごく御高齢の方とか、実はすごく力を持っていらっしゃる。子どももいろんな支援を欲している、お母さん方もいろんなところで支援を欲しがっているところを、うまいことコーディネートできるようにところがあればいいなということを感じて、全部これは絡んでいくんですけども、出入りの激しい地域というのはほかのところと比べて、本当に地

方と比べて新しいものを導入するスピードが速いんですね。そう考えると、いろんなことが展開できるのではないかと感じています。

梅原委員 最初に、キーワードがありまして、多分、高齢者と子どもとオリンピックという3つのキーワードが出てくるんじゃないかと思うんです。

まずオリンピックなんですけれども、例えば中原区の魅力を発信するとか、中原ブランドをつくるとか、いろんな考え方が出てきますよね。伝統文化を伝えるとかいろいろ出てくる。

ところが、おまえ、どこに住んでいるかと聞くので中原区に住んでいると言うと、友達に、ええ、人口がそんなにふえて、ビルがどんどんできて大変じゃないかと言われるんです。確かに25万人いるんだけれども、毎年1万人ずつふえているんですね。高層ビルはどんどんできて。そうすると、年寄りがいると、例えば外に出ているときに何か事故が起こったと。じゃ、おうちに帰れるかといったら、電気と水がとまればもう行けないですね。どうするんだと。特に年寄りが40階なんかに住んでいて地震が起こった、どうするんだ。外にも出られない、水も電気もないとどうしても動けない。そういうときにどうするんだというようなことを言われて、そうすると、オリンピックなんて外人がいっぱい出てくる、防犯はどうするんだ、いろんな災害が起こるんじゃないかと言われますね。その辺もいろいろ考えなきゃいけない。いろんなことが考え出されるんですね。

先ほど高齢者と子どもと言いましたけれども、例えばボーイスカウトなんかで子どもたちが入ってきます。そうすると、私たちはまず親の訓練、親をしっかり教育するんです。というのは、親がしっかり教育されていないものだからうまくいかないんですね。何で断絶しているかといったら、先ほど小野山委員が言ったように、田舎はいろいろ年寄りの考え方が伝わっているんだけれども、都会は伝わっていないんです、それぞればらばらなんですね。そうすると、子どもと年寄りが接触する場をつくる必要があるんじゃないかという考え方も出てくるわけです。

しっかりした年寄りはいろんな技術を持っていますから子どもたちにそれを伝える。ボーイスカウトは中学生、高校生が相手ですから、きっちりと伝統芸能とか芸術を伝えることができるんです。そういうことができる。ただ、少しよれた高齢者になると、子どもたちが出て行ってゲームをやるとか、歌を歌うとか、劇をやるとか、癒やされるわけですね。そういうつながりを重んじるといいんじゃないかなと。

だから、キーワードはオリンピックと高齢者と子ども、それにまつわるようなことをやれば、中原区は住みよい町になるんじゃないかなという感じがいたします。

以上です。

内田委員 防災の分野のほうから御提案させていただきます。どちらの小学校、中学校も備蓄倉庫が完成しつつあるかと思われまます。皆さんも、各住居されているところでは、避難訓練等も各町会単位でやられているところに参加されていると思います。でも、昨年ふ

と感じたのが、もう我々が体験するんじゃないかと、我々が避難所の開設委員になる時期なのではないかと感じました。それは、今いろいろ多くの方々が意見を言われていたのですが、どうするんですかじゃなくて、どうにかしてあげようよという立場になる考えを持っていいのかなと、そんなふうにあります。

それは、各小学校、各中学校、そこで開設される方々は、多分各町会単位の方々だと思います。でも、その方々も一般家庭の一般人です。そこに駆けつけることができるかどうかというのはわかりません。先ほども若者たちの活力があるじゃないかと、そういうようなところの尽力も必要なのかなと考えれば、防災ネットワーク、今、名前だけは考えられて構築されておりますが、具体的な活動に関するとても難しい問題にぶつかってきます。外国人の方、たまたま通りかかってその小学校に来たときの対応はどうするのだろうか、障害者の方にどのようにしたらいいのだろうか。

先ほどのお話だと、どうしてくれるんですかという話が多かったですけれども、それをどのような形でお迎えができるのか、そういう議論をし合っていたかないと、今後防災が人任せという形に、聞く上では多いような気がしてならない。もう自分は自分で守ろうよ、自分の家庭は自分の家族で守ろうよという意識を1人でも持っていたらいいのであれば、避難所開設運営もとてもスムーズに行くのではないかと。そろそろそういうお考えで、よく言われています、まず自分で自助、その後が公助、それから共助というような言葉がよく問われておりますが、やはり原点は個人個人ではないかと思えます。個人個人の方の意識をもっと深めていくような活動につなげたいと思っております。よろしく願いいたします。

以上です。

伊藤委員 私も、町会から出ているんですが、やはり出したのは交通と防災だったと思うんですが、避難所の運営ですが、まだ何も下のほうでは動きができない状態だと思います。ですから、避難所、小学校、中学校に避難してきてもどのように多くの人たちをさばっていくか、どのように運営していくかということがまだ何もできていないと思えます。区役所のほうでも、避難所運営委員会を立ち上げていただいているんですが、年に1回か2回の会合ではそれから先に進むことがないんです。ですから、もう少し避難所の運営をしていくことを推し進めていっていただきたいなということです。

もう1つは、町会に入らない方が多いということ。町会の住民でもなくて、町会活動を何もしていない。私たちは町会でいろいろな活動をしていて、避難してきた人たちにもいろいろなことを支援するんですが、町会費も払っていない、町会の運営にも何も関係ない、町会の活動を何もしない人たちをどうしていくか。やはりそこには少しは差がないといけんじゃないかな。一生懸命、町会のボランティアをしても、町会費も何も払わない人と同じでいいのかな。みんな市民税を払っているから町会は私たちにも食料を何でも分けてくれるし、避難すればそれはしてもらおうのは当たり前だと皆さん思って

いると思うんですが、そこで動いて働いている人たちは町会関係の人なんです。

ですから、ぜひ区役所のほうでもお願いしたいのは、転居者、初めて来る人たちに対して、町会に入ることをなるべく勧めてほしいと思うんです。町会は任意ですという言葉は言わないでほしいと思うんです。町会は任意だから私たちは入りませんという方が非常に多いんです。私はよく言うんですけれども、町会に入らないと避難のときの連絡は行きません、救援物資が来ましたという連絡も行きませんよということをよく言うんです。そうすると、災害のときに困るからと言って入ってくるんです。ですので、そこをしっかりと区のほうでも考えていただきたいなということがございます。

それからもう1つ、交通のほうですが、バリアフリーとかいろいろなことが言われていますが、やはり高齢者がだんだん多くなってくるところで、バスの乗りおりでも、段差のある歩道のところがございますね。乗るときはちょっと高いところへ上るんですけれども、どうにか乗れるらしいんですけれども、バスからおりたときに、下において、また狭いところでぽっと上に上がらなければいけないという動作がとてもできないんだそうです。そういうことを考えて、自分たちが目が見えないとか障害者であることを考えて道路などを整備して行ってほしいなということを考えております。

ぜひこれは、市議員の先生にもお願いしなければいけませんし、区のほうにも、市の大もとのほうにもお願いしていきたいと思いますが、本当に段差のあるところは高齢者にはとても不便らしいです。私たちは、バスの乗りおりに不便を感じたことはないんですが、年をとったつえをついた人とか、あとは押し車で歩いている方がいますね、小さなちよっと格好のいい。それですと、一旦おりると今度は上がることができなくて、本当に大変らしいんです。そのことをたしか書いたと思います。

それと、ここのところよくなりましたけれども、道路の白線が消えているところが非常に多くて、夜の道路なんかでは白線がわからなくて怖いなと思って運転することが多々ありましたので、道路の白線だけはなるべく引いていただきたいと思っております。車の量が多いですから、どうしても消えることが多いんですけれども、そのところはきちんとよく見てしていただきたいと思います。私があることを書いた後に、中原区も白線が引かれて非常に見やすくなってきていますけれども、まだ白線が薄いところがあるかと思しますので、よろしく願いいたします。

以上です。

安藤委員 このテーマに関してなんですが、幾つかありますけれども、非常にどこも重要なテーマだと思っております。ただ、私としては、エリマネの代表として来ている関係上、今9棟のマンションが加盟して新住民と言われるマンション住民の方と色々な事業をやっていく中で、やはり防災・防犯、子育て、地域活動というのが主にやっていることとございますけれども、この中で中原区が考えなければいけないことは非常に多くあるのが現状でございますけれども、私のエリマネとして、防犯・防災、地域活動ということで

書かせていただいております。

防災に関しましては、町会の方々とか、地域の方々もいろいろなことで日々活動していると思っておりますけれども、マンションのほうでは、高層マンションにおける防災ということに関しても、今我々のほうで各マンションの防災委員を集めた防災ワーキンググループというのを立ち上げておりまして、月1回そういった活動をしてしております。今マンション同士のつながりを主にやっておりますけれども、今後に関しましては、地域の方々の防災を含めた形でできればということで、私としては防災をテーマとして上げさせていただいております。

それと含めて、防犯というのも最近力を入れておることもございまして、防犯委員の方、防犯協会の方との話も含めて、話をさせていただきたいと思っておりますけれども、マンションに限って言いますと、マンションはかなりセキュリティーが発達しているところなんですけど、マンション以外の場所においてはいろいろ子どもさんの被害が起こっているとかいった情報も入っております。そういったことも含めて、今どういったことで防犯に対してやっていこうかということも進めている中で、皆様とのコミュニケーション、情報共有をしていければいいと思っております。

最後の地域活動、地域コミュニティということで、まさに新住民——旧住民とか新住民という言い方は私としては余り適切ではないような、地元の方々と、新しくマンションに入ってきた、それをいかに結びつけていけるかということが非常に重要になると思っております。

武蔵小杉は最近注目されておりますけれども、新しいまちづくりを今後中原区として地域の方々と、先ほど副区長も言うておりましたが、住んでよかったまち、住み続けたいまちをテーマに上げているということになりますと、新しい方が住んで、なおかつ地元の方と今後こういったコミュニティをつくっていくのにどうしたらいいのかという形があります。先ほどおっしゃったように、町会に入る方が少ないというお声とかもある中で、いかにそういった形で一緒にやっていくことができるのかということ、この武蔵小杉で考えていければと思っております。

それはマンションの中で非常に難しい問題もございまして、管理組合という壁がある中で我々も進めていっておるんですけども、そういった形で、まだまだ最近北口のほうにもマンションが建つという形で、どこまでその辺のことを行政の中原区さん、川崎市さんが、開発に向けてまちをどうしていこうと考えていらっしゃるのかということを含めて、我々の活動とともに、地元の方たちと一緒に考えていければと思っております。

以上でございます。

成田委員長 最後になりますが、副委員長のお2人からも、時間の関係もございまして簡単にお話しいただければと思います。まず、井上副委員長からお願いいたします。

井上副委員長 私のほうは、皆さんの意見を聞いていたんですけども、一番思ったの

は、特にこの小杉に今すごく人が集まっていますという状況があって、それが何でかというところに関しても、当然ショッピングモールができて、マンションがあって、人の生活があって、そこに魅力というのがだんだんついてきたというのに加えて、グルメ的なものが出てきたと。要はこの地域で生活ができる、レジャーもできる、要は魅力あるまちづくりがだんだんできてきたというのが一番なのかなと思っていて、これはすごく大きな変化だと思うんですね。

今まで川崎市民の方というのは、生活で何かしようというときに、この中原もそうですし、川崎市の中でやろうというのではなくて、すぐ簡単に行ける東京であったり、横浜に行くというのが1つの特性であったというところが、小杉がこういうまちに変わったことによって人の動きが変わってきたというのは、すごく前向きなことだと思っています。

なので、私としては、子育て、防災、いろいろあると思うんですけども、これをやることはすごく賛成であって、それをちゃんとまちの魅力として発信していけるかどうかというのがこの区民会議の役割の1つなんじゃないかなと思っています。なので、皆さんの意見で何をやるにしても、ちゃんとこれを魅力として、先ほどテーマを選ぶキーポイントに関しては、話題性であったり、共感性というところが入っていましたけれども、その2点がちゃんと組み込まれているようなことでみんなでやっていこうという機運になるんだったら、皆さんの話した中でちゃんと選んでいけばいいのかなと思っています。

ただ、やはり注目されているこの地域でやるということに関しては、重ねてになりますが、話題性と共感性というところは重要視してテーマが決まればいいなと思っています。

橋本委員 皆さんの意見を聞きまして、それぞれ分野別に切っているわけですが、私はそれを縦に見てみると、世代間の交流であるとか、場の確保だとか、そういった面では共通の部分があるのかなという点を感じました。この辺を今後検討する中で、分野別に検討するにしても、こういった世代間の交流とかをそれぞれのテーマを絞っていく段階では生かしていければと考えました。

以上です。

成田委員長 ありがとうございます。本日は時間もございませんので、意見交換はここまでとさせていただきます。

皆様方からそれぞれ各分野別、ランダムにいろいろな御意見をいただきました。実はこの区民会議の第4期がスタートしたときに、中原区の人口が23万人を超えたという話題になりましたが、ことしに入りまして、今度は25万人を超えたということで、ほんの数年の間に1地方都市1つ分ぐらいができてしまうような人口増が甚だしいこの区で、それぞれ抱えている問題も、高齢者であり、子どもであり、働き盛りの方であり、どれか1つに絞り切るといことはなかなか難しいと思います。

そうしたことも踏まえまして、本日の会議で出ました皆様方の御意見や御希望を踏まえ

まして、区民会議で取り上げるテーマを、先ほど設置いたしました運営部会のほうで決定していきたいと存じます。

それでは最後に、運営部会の開催を含めまして、今後会議を進めていく上で会議の流れについて確認をしていく必要がありますので、会議スケジュール案について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 では、事務局からスケジュール案について説明をさせていただきたいと思えます。お手元にご覧いただけます資料4をごらんいただきたいと思います。

こちらは、先ほど御提案させていただいて、御了承いただきました専門部会を開催した場合に、第6期区民会議がどのような流れで進行していくかをお示ししたのとなっております。表形式になっておりまして、左の端の上から、区民会議、運営部会、課題調査部会、報告会等となっております。右側に行くにつれて時間が経過をしていくというものでございます。区民会議の一番左端、第1回会議となっております。8月4日、本日開かせていただきまして、そこから矢印で、運営部会の第1回を開いていただく。その後、矢印で、第2回の区民会議を開いていただき、そこからテーマの審議を進めていく。これを2年間、計7回の区民会議を開催していただき取りまとめを行っていただくというスケジュール案となっております。

ただ、こちらはあくまで事務局からの提案でございまして、先ほど委員長が仰ったとおり、審議スケジュールについても運営部会で諮っていただくということになるかと思えますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

事務局からの説明は以上でございます。

成田委員長 ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明に対しまして、何か質問等はございますでしょうか。

特になければ、先ほど確認していただきました区民会議で取り上げる検討テーマにつきまして、運営部会で決定していくに当たり、今後のスケジュールにつきましてもあわせて確認していくことが必要になりますので、第6期スケジュールにつきましては、この後、運営部会で決定していきたいと存じます。

(2) 区民会議の広報について

成田委員長 続きまして、区民会議の広報について審議したいと思います。

まず、事務局から資料の説明をお願いいたします。

事務局 では、事務局から広報案について説明させていただきます。資料5をお手元に御用意ください。

こちらが、第6期区民会議で区民会議の取り組みを広く区民の方々に知っていただくとともに、区民会議の知名度を向上させるためにこういう広報に取り組んでいったらいかかという案となっております。

1つ目が、区民会議だよりでございます。お手元にカラー刷りの区民会議だよりを御用意させていただいているかと思えますけれども、こちらを年3回程度、主に町会・自治会様に御協力いただきながら、回覧等を通じて広報させていただけたらどうかというのが1点目でございます。

2点目は報告書でございます。この区民会議は2年間の活動となっておりますので、1年に1回程度、中間時期の中間報告書、最終時期の最終報告書という形で、審議結果について、報告書という形で取りまとめて案内をしていったらどうかというのが2点目でございます。

3点目はホームページでございます。冒頭にも説明させていただきましたけれども、写真や、会議録などをつくらせていただきますので、そちらの内容を随時更新させていただけたらと思っております。

4点目、その他といたしまして、市政だよりなども通じて開催の案内、報告会をやるときなどはその案内などもさせていただけたらと思っております。

事務局からの説明は以上でございます。

成田委員長 この区民会議、先ほどから申しているように、5期10年やっておりますけれども、まだまだ区民の皆様方の中には知名度が低いということで、事務局による情報発信はもちろんです、委員の皆様、お1人お1人から、この区民会議をアピールしていただいて、少しでも多くの区民の方に知っていただけるように努めていかなければならないと思っております

区民会議の広報について、特に御意見はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 ないようでしたら、事務局提案のとおり広報を進めていただきたいということをお願いいたします。

8 その他

成田委員長 このほかに事務局から何かありますか。

事務局 ございません。

成田委員長 以上で本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。ほかに皆様方から、何かこの場で御発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 ないようですので、ここで区民会議の参与の皆様方に一言ずついただきたいと思えます。本日の議論を聞いていただきまして、お気づきの点などありましたら、ぜひ御助言をお願いしたいと思います。

市古参与 助言なんてそんなおこがましいことは言えないんですけども、皆様の御意見をずっと聞かせていただいて、議会でもいろいろと議論してきたことの問題意識とかなり

重なる部分があるのではないかということを感じました。

1つは、自転車のマナーについても、レーンはかなり小杉駅周辺に整備されてきましたけれども、それでも本当にマナーの問題では、子どもたちに恥ずかしいような、そういった通行の仕方みたいなものもかなりあるので、そういう点は、レーンを引くだけの問題ではないんだなということで、区民会議のほうで議論していただければということも思っております。

それから、避難所の問題も、私もこの間取り上げたんですけれども、避難所、発災をして3日ぐらいは組み立て式のトイレが全く足りないということも明確になって、汚物処理袋と一緒に処理をしなければいけないとか、女性が避難場所で避難する場合の配慮の問題とか、もろもろそんな問題も議論させていただいたんですけれども、もっとソフト面を含めて、こういう問題も区民会議で御議論していただければ、私もますます、本当にいつ災害が起きるかわからないという状況ですから、そういう意味でも御一緒になって考えていければいいかなと思っています。

あと、商店街の問題とかもろもろありますけれども、時間の都合もありますので、本当に今日は問題意識が一緒なんだなということを強く感じたことを感想として語らせていただきます。ありがとうございました。

重富参与 本日はありがとうございました。自己紹介のときにさくっと終わりましたので、ちょっとこちらで長く時間をいただければと思います。

まず、2点、今日は意見というか、感想がありまして、まず1つ目が、第5期に関して、今日も何人かの委員の方からお話がありましたけれども、ここでお話し合いをしていただいて、かつ、例えば自転車だったり、ごみにしても市民の方を交えた形での劇団だったり、体験型ゲームを考えて5期はやっていただいたと思うんですけれども、それでも委員の方からお伺いすると、なかなか区民の方には伝わっていないということが、まずこれが1つのテーマになっていいぐらいのことなのかなと感じました。なので、この区民会議スケジュール案のところを見ると、テーマ1は、3月ごろまでお話をさせていただいて、テーマ2に関しては、1を継続したり、別のテーマに行ったり、もしくはテーマ1の実践検討ということだと思えるんですけれども、ここでいかにすばらしいアイデアが出たとしても、それが区民の方に伝わらないと、今日もやはり衝撃だったのが、自転車についてテーマとして取り上げたいという意見も委員の方からありまして、第5期であれだけ熱心に皆さんやっていただいたのに、やはりそういう状況なのかというのは率直にショックを受けました。

なので、個人的には、テーマは2つよりは1つで、1つを3月ぐらいまでに、大体こういう形でやっていこうという取り組みが決まったら、それをいかに発信していくのが本当はもっと大事なのかなとか、そこは掛け算だと思っているので、いいアイデアと、いい広報が合わさって初めて区民会議の認知度も上がっていくと思いました。

もう1個あります。あと、ここの場の議論の仕方について、ちょっと提案というか、感想なんですけれども、今日もテーマをどうするかということについて、委員の方1人ずつ御意見を伺って、さあ、ここから、ほかの委員の方から意見を聞いて、じゃ、新しいアイデアが生まれたよという意見交換が今から始まるのかと思ったら、やはりこれで時間になってしまうというのがすごくもったいないなと思いました。テーマについても、運営部会のほうでということだったので、運営部会じゃない方は、ここで一言言って、もうテーマが決まって次を迎えるということになると、何か寂しいなというか、そういうイメージがありました。これは、恐らく1期からいろいろやり方を工夫してきて今のやり方になっていると思うので、それがどうなのかというのをもう1度検討する余地はあるのかなと感じました。なかなか盛り上がってきたところだったので、もうちょっと話を聞きたいぞという感じだったというのが率直な感想です。

区民会議は、個人的には地域の方が主体となって、内田委員も先ほどおっしゃっていましたが、行政に何かしてもらえないんだということがそもそもの起こりだと思っていますので、ぜひ闊達な議論をいただき、私もできる限りこちらに来て、皆様がお考えになっていることをお聞きして、またこういう形で自由に発言をしたいと思いますので、よろしく願います。ありがとうございました。

末永参与 皆様、本日は貴重な御意見ありがとうございました。私も、本日皆様のさまざまな御意見を拝聴するにつけ、私が議員になる前に、実はこの中原区のまちをどういうふうにしたらいいんだろうかということで、高齢者だったり、子育てだったりの勉強をしております。2年前に長野県伊那市に世代間交流施設、保育施設と高齢者施設が同じ隣同士にあって、そこに行ってみたんですね。そこでは、御高齢の方はお子さんと接することによってお子さんに対する教育の熱というか、愛情だったり芽生えたり、またお子さんは御高齢の方と接することによって、御高齢の方に対する優しい心だったり、敬う心も芽生えていく。

皆さんの御意見の中に、高齢者のケアだったり、防災、子育て等さまざまに出てきましたけれども、御高齢の方に優しいまちにすることが、すなわち子育ても充実、そして防災、何かあったときにも助けになるような充実したすばらしいまちになっていくんじゃないかと思ひまして、私は今年は市古先生とも同じく健康福祉委員会にも所属しておりますので、ぜひとも中原区民の皆様が住みやすいまちにしていきたいと思う次第でございます。これからも区民会議でも御指導のほど、よろしく願い申し上げます。本日はありがとうございました。

松原参与 御苦労さまでございました。限られた2時間という時間の中で、20名の方がそれぞれ発言すると時間配分等々も非常に難しいのかなと思います。以前は2時間ではなかったんですね。もっと長かったんですけれども、委員の方の中から、長ければいいというものじゃないでしょう、ある程度時間を決めて、その中でしっかりと濃い意見交換をして

いこうというようなことで2時間ということになったと思います。これが果たしてどうなのか。いや、2時間じゃ足りませんよ、もっともっとやらなければいけない、そういう意見もあろうかと思いますが、そういった時間配分等々についても今後課題になってくるのかなと思います。

皆さんの任期は、7月から再来年の6月まで2年間、24カ月やりますけれども、実はスケジュールを見ると実際にはもう17カ月しかないんです。あとの7カ月は、3月を過ぎると、その後、4、5、6、7月までの4カ月はどうするのかと。もう7月はことし終わっています。ですから、7月に任期が始まったのになぜ8月からやらなきゃいけないのと。7月に始まったら7月からこの会議を開いて、任期いっぱい6月まで活動する体制をしっかりつくっていただいて、3月、4月に報告があつて、最後に区長に報告で、4月ぐらいで終わってしまいますと。これが本当にいいのかなということもあります。

そして、以前はこの区民会議の会場も5階全部使っていたんです。ところが、半分にした。どうして半分にしたのか。傍聴の席をつくっても傍聴の人は誰も来ないでしょうと。今日も多分来ないと思うから半分で大丈夫だろうということで、こういう会場の設営をされているわけですよ。前向きじゃないですね。どうせ来ないだろうというような中で傍聴の椅子もここにありますが、以前は傍聴の方たちにもこういったテーブルが出ていたんです。ところが今は椅子だけ、今日は傍聴ゼロ。こういう区民会議が5期も今まで続いてきて、いよいよ6期目ということなんですが、これまでのこういったことで、何が反省できて、今後どうしていくのかということが、そういった決定打がないままに審議テーマを決めて2年間審議をしていくというようなことでありますので、区民会議のあり方自体、これは議会のほうでも実は問題になっています。7つの区の中で区民会議があるんですけれども、積極的にやっている区もあるし、何とか2年間過ごせばというような、こっちから見てもしっかりとやってくださいよというような区民会議もあります。中原区は、7つの区の中で私はしっかりとやっている区だと思います。ですから、こういった今まで5期までのすばらしい流れがありますので、6期目はさらにもっともっと発展させていただければと思います。

もう1つ、皆さんの中から、これも条例で決まっているんですけども、予算の要望というのはないんだよね。出ても、お金のこういうことをやりたいんだけど、もっと予算をつけてくださいとか、そういう話は今まで絶対ないのね。多分出ても、そういう会議じゃないからということで御遠慮されていると思うんですけども、本当に何かやりたいならばやっぱりお金がかかるんです、予算が必要なんです。そういったことも含めて、中原区としてこういうことをやりたいので、区民会議でこれだけの予算を行政のほうはしっかりつくってくださいというような、そういった具体的な要望も出てきていいのかなと私は思っています。ただし、条例の中でそういった予算要望については余り好ましくないというようなことでありますので、とにかく自分たちで解決しなさいと、区の問題を自分た

ちで発見して自分たちで解決しなさいということでもあります。私たち議員の場合ですと、とにかく予算要望をしてその中で問題を解決していくということが1つの仕事であるわけでありまして、その辺、皆さんはつらい部分があるのかなと思います。

それと、やっぱりせっかく出てきていただいた以上は本音でしゃべっていただきたいと思います。遠慮することなく、大体皆さん気心知れていると思いますので、本音でしゃべっていいと思うんです。私たちの委員会の中でも、それぞれ10人の委員がいるんですけれども、大変議論が活発です。テーブルのいろんなものは飛び交いませぬけれども、意見は非常に飛び交いますので、例えば何かを言ったときに、今の意見について、もっと具体的にどういうことなんですか、言っていることがわかりません、もっと今のことを具体的に説明してください、そういうことも、私も今日いろんな意見を聞いたけれども、もう少し具体的に聞きたいなというような話も中にはありました。

ちょっと長くなりましたけれども、そういったことで、6回目のこの区民会議はこれまでの5期に比べてさらに大きな区民会議となっただけのように期待いたしております。よろしく願いいたします。

君嶋参与 県会議員の君嶋です。今日は、皆さんも御存じのように、津久井やまゆり園の事件の関係でちょっと急に入ったこともありまして遅くなりました。遅刻してまいりました、失礼いたしました。

私は、去年からこの会議に参加させていただきまして、今まだ比較的第三者的な見方がどうしても出てくるんですね。そういう点で、会の様子をうかがったり、こちらの資料を見てみますと、これだけいろいろ時間をかけて皆さんの問題意識を整理されて、その後、まとめをどのように生かしているのかなというのがつい気になるところです。運動体ではないでしょうから、早急に成果を求めるということではないと思いますが、例えば今回テーマをどうしようかというふうに見たときに、これまでの区民会議の審議テーマというふうにならなったりしますが、この中で、例えば一番上の高齢者福祉の問題はしばらくやっていないようだけれども、これについては、取り上げた結果何が進んだのかなとか、そういったことがもう少し、会議を重ねた結果こういった変化があらわれたとかいうのがほしいなと思いました。

会議の性格上難しい面もあるんでしょうし、それから、必ずしも成果を早急に求めるとまたおかしな話になるかもしれませんが、こういったテーマに沿って議論を重ねた、それから調査を重ねて結果、その次に何を望むか、こういった形で反映させていくかといった視点がもう少しほしいなと思いました。

余り経験がない、いろんな場面に出ていませんのでちょっと場違いな意見かもしれませんが、そのような感想を今日は持たせていただきましたので、今後ともよろしく願いしたいと思います。

吉岡参与 遅くなりまして大変申しわけありませんでした。皆さん方の議論を聞かせてい

ただきまして、大変参考になるというか、この区民会議が始まりましてもう既に10年が過ぎて、第6期目、次の10年に向かってのスタートを皆さん方で切られたとっております。この間の区民会議の中での取り組み、さまざまございました。それが目に見える形になったのかどうかというのはさておきまして、今回お話の中にありました中では、さまざまな活動の横の協力を入れたらどうかという御意見がありまして、なるほどと思った次第でございます。

ほかにも、例えばオリパラですと、川崎市の議会でも今回取り上げたんですが、等々カアリーナのトイレ、和式が6割、7割なんです。洋式トイレは3割ぐらいしかない。車椅子で使えるトイレは各階に1カ所しかないという状況があります。本当にこれでいいのかなという思いがあります。その会場に行くまでの間で、ふだん車椅子を活用されている皆さんが一番おっしゃっているのは外に出たくない。なぜかという、トイレがないからというお話をよく伺います。実は調べてみたら区内にはかなり多目的のトイレがあるんですね。そういった部分をどうやって活用していくのかというのがこれからの課題なのかなと、私個人的には思っています。

皆さん方、さまざま御意見をいただきました。避難所運営の話もいただきましたし、本当に議員として市議会の中で皆さん方の活動をサポートできるような取り組みも大変重要だと改めて認識させていただいた次第でございます。今後2年間の皆さんの議論をまた楽しみにさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

成田委員長 どうもありがとうございました。参与の皆様方には、本日貴重な御発言を多々いただきましたこと、心から感謝いたします。こちらにつきましては、今後の区民会議の参考にぜひさせていただきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、事務局から何かございますでしょうか。

事務局 それでは、事務連絡を2点ほどさせていただきたいと思っております。

1つ目は、次回、第2回の区民会議の日程でございます。今のところ、予定として、10月7日（金）、11日（火）、12日（水）、13日（木）、14日（金）のいずれかの日の午後で調整させていただきたいと考えております。後ほどまた改めて御確認させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

2点目が広報の関係でございます。先ほど御承認いただきました広報のうち、早速ではございますけれども、なかはら区区民会議だよりを作成してまいりたいと思っております。今回は第6期の第1号となりますので、委員の皆様を紹介させていただく紙面とさせていただきたいと思っております。つきましては、先日一言コメントをくださいという文章を送らせていただいたかと思うんですけれども、もし提出がこれからという方は御提出をお願いしたいというのと、もう1つは、皆様の写真撮影をお願いしたいと考えております。恐縮ではございますけれども、会議終了後、少しお時間をいただき、この会場で集合写真を1枚撮らせていただきたいと思います。その後、さらに恐縮ではございますけれども、お1人ずつ

の写真を撮影させていただきたいと思いますので、申しわけございませんが、しばらくお時間をいただければと思います。

なお、お手元に参考として前回のなかはら区民会議だよりがありますので、このような形になるイメージでいただければと思っております。

事務局からは以上であります。

成田委員長 ありがとうございます。

9 閉会

成田委員長 皆様に御協力いただきまして、円滑な議事を進めることができました。副委員長ともども深く感謝申し上げます。

鈴木功士委員 1点質問をしていいですか。この会議は、区長は基本的に報告を受ける側なんですか。今日来られていなかったの。僕は、区民会議ということで区長がいるものだと思って来ていまして、用事でいないのであれば優先順位がこの会議は低いのかなと感じてしまうんですけども、その辺はどうなのでしょう。

成田委員長 ありがとうございます。それにつきまして、事務局から。

事務局 申しわけございません。通常、区長が参加していただくのが普通なんですけれども、今日は他の所用がございまして欠席させていただいております。次回以降につきましては基本的に出るということでやらせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

鈴木功士委員 それは、優先順位的には結構低い。多分努力をすれば……。

事務局 通常はその優先順位はどうという話もあるかもしれませんが、基本的には第一優先で。

鈴木功士委員 今の時代、テレビ会議とかでも出演といいますか、参加ができると思いますので、何といたしますか、もっと活発的にするためにはそういう部分も必要なのかなと単純に感じてしまいました。結構皆さんも優先順位を上げて来られていると思いますので、そういう部分で上げていかないと有意義な会議にならないのではないかと感じたので、最後意見で言わせていただきました。

成田委員長 ありがとうございます。事務局のほうも、この点、ひとつよろしく願いいたします。貴重な御意見、ありがとうございました。

ほかにありますか、せつかくの機会ですから。よろしいですか。

それでは改めまして、これで第1回の中原区区民会議を閉会いたします。皆様、どうもありがとうございました。

午後4時8分 閉会